

かほく市図書館 友の会だより

発行日 2019年7月25日

発行者 かほく市図書館友の会

〒929-1173 かほく市遠塚口57-6 かほく市立中央図書館内

第22号



令和元年度 図書館見学会 参加者募集!!

今年は「富山射水市 大島絵本館」へ!!

- ☆ 空に浮かぶ船のような大島絵本館（有料）を見学。絵本を軸として親子の心を育てています。隔月発刊の「マグちゃん通信」は、もうすぐ60号!
- ★ 旧北陸街道を散策しながら、「竹内 源造記念館（鏝絵（こてえ）ですばらしい作品を残した左官の記念館。旧小杉町役場）」と「小杉展示館（小杉焼の展示等。旧小杉貯金銀行）」の見学。
- ★ 海王丸の勇姿も!

日時	令和元年10月10日（木）9:00~17:00
見学先	大島絵本館、竹内源造記念館・小杉展示館（北陸街道）、海王丸パーク等
募集人数	25名（申し込み順）
参加費	昼食代と入館料 <u>2,000円</u> （当日集金。入館料の一部は、会から助成します。）
交通	かほく市マイクロバス
日程	8:50 かほく市立中央図書館前に集合 9:00 マイクロバスで出発 10:00~11:00 大島絵本館（射水市民は無料） 11:30~13:00 昼食：イタリア食堂「ユニコネルモンド」（森永酒店） 13:10~13:40 竹内源造記念館（国登録有形文化財）見学 13:50~14:20 小杉展示館（国登録有形文化財）見学 14:40~15:00 海王丸パーク見学 15:40~16:00 道の駅 メルヘンおやべ 17:00 かほく市立中央図書館帰着・解散



☆小杉展示館か竹内源造記念館で駐車し、昼食会場～竹内源造記念館～小杉展示館は徒歩で回ります。

★昼食については、近くなって希望をお聞きする場合があります。

★基本的にこの日程で行います。行程に変更がある場合のみ、申し込まれた方に連絡いたします。

申込先 星名 葉子（友の会会長）090-2035-1220 ※図書館申し込みではありません。

申込方法 直接に電話で、できるだけ早くお申し込みください。
予定の募集人数に達した時点で、締め切らせていただきます。

第15回 友の会の集い 8月23日（金） 19:30~21:00

今年も夜の開催!

【講師】澤邊 公亮（さわべ こうすけ）氏 【演題】「あたりまえが あたりまえじゃない」

かほく市学園大インター近くの「コイノボリ食堂」をご存知ですか？知る人ぞ知るおいしく体にいいネパールカレーのお店です。

今回は、若い店主が、大学を卒業後に海外を放浪、自分らしい生き方を求めてたどり着いた「コイノボリ食堂」までの心の変遷について語っていただきます。

常識で固まった頭？に、鮮烈なパンチがもらえそうです。

★会員以外の方の参加も大歓迎です。友人知人をお誘いください。

★近いうちに往復はがきを発送しますので、お申し込みください。

第8回 図書館友の会 総会開かれる ～8年目に突入～



毎年本をご紹介くださる山越教育長

6月2日(日)かほく市中央図書館において、第8回かほく市図書館友の会総会が開催され37人が参加されました。

来賓の山越充教育長のご祝辞と恒例の本の紹介がありました。今年は渋沢栄一著「論語と算盤」でした。その後、竹中さんを議長に選出し、平成30年度事業報告及び決算、令和元年度の役員紹介及び事業計画、予算を審議し承認されました。

議事終了後、かほく市文化財保護審議委員 瀬戸薫氏をお招きして、「金津荘のれきし」と題した講演をお聞きしました。大河ドラマ「利家とまつ」の時代考証をされた先生のお話を聞ける素晴らしい機会となりました。



先生のお話はとてもわかりやすく、Jリーグのシンボルは八咫烏ですが、これは創始者が熊野神社へお詣りしていたからだということや、津幡町の井上の荘(いのうえのしょう)は井家の荘(いのいえのしょう)と読むのが正しい、など知らないお話がたくさん出てきました。また、百姓とは国民という意味で太閤検地以降は農民と呼ばれていたそうですが、農民という言葉のイメージを悪くしたのは戦後のジャーナリズムの影響だそうです。今は悪いイメージはないですが一時期は、蔑称として使っていた時期があったようです。本来、その言葉が持つ意味を知ることにより、認識を改めて日常に使うことが大切なことだと感じました。

瀬戸先生は、ご先祖の生活があって今の生活がある、と仰っていました。

ご先祖の生活に思いを馳せると共に、100年後、200年後、今の自分たちの暮らしが、歴史の中の一つに組み込まれていくことになるかと思うと、人知の及ばないスケールの大きさに畏怖の念や歴史のロマンを感じました。

この講演時間ではまだ足りないくらいもっとお話が聞きたいと感じました。瀬戸先生、ありがとうございました。

■参加者の声

「金津の荘のれきし」

T. M

「おっ、これはおもしろをうだ。」先生からいただいた資料を見て思いました。それは、私が全巻読んだ阿部智里の八咫烏シリーズの「玉依姫」のイラストがあったからです。予想に違わず、たいへん興味深いお話でした。

お話は、「金津の荘のれきし」

1. 賀茂別雷神社(上賀茂神社)とは?
2. 賀茂神社の役割
3. 金津の荘の村々と人々

という内容でした。瀬戸先生のお人柄が滲み出るような優しい口調で、専門的な内容も誰もがよく理解できるように、平易にユーモアを交えて話してくださいました。とりわけ、平安後期から戦国時代まで続く「加州神領」のお話が印象に残りました。それは、当時の農民が自分たちを「御百姓」と誇称し、加賀守護や上賀茂神社に堂々と相対し、成果を上げていった力を感じたからです。また、それぞれの荘園の名主が花押を持っていたことも初めて知りました。

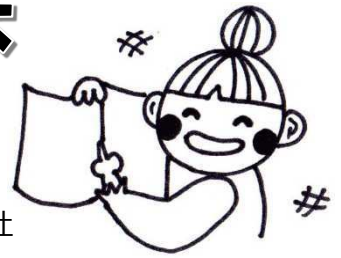
「金津の荘」の名称は、荘園の実質が失われた以降も上賀茂神社で使用され続け、現在も葵祭の競馬神事に登場するというので、ぜひ、葵祭を見物に行きたいと思いました。

また、先生のお話を伺う機会があればな、と思います。



わたしのおすすめ本

奇跡の本屋をつくりたい



久住 邦晴 著/ミシマ社

札幌の街に多くの人たちに愛されながらも 2015年に閉店した「くすみ書房」の店主、久住邦晴さんの遺稿をもとにした町の本屋さんの記録です。

くすみ書房は数々のユニークな取り組みを手掛けてきました。背景には、直面する経営難があり、全国の町の本屋に共通する構造的な問題だったのです。

「なぜだ!? 売れない文庫本フェア」「本屋のオヤジのおせっかい中学生はこれを読め!」などの独創的な棚作りや、毎日開催する朗読会が話題となりました。活気を取り戻したものの、近所にオープンした大型書店の影響で再び苦境に立たされます。資金繰りに窮する日々、それでも、地域の本屋の使命を持って奮闘し、何度も危機を乗り越えます。

惜しまれつつも閉店しましたが、久住さんは諦めることなく次なる「奇跡の本屋」をつくる新たな構想を考えていました。その矢先、病に倒れ 2017 年永眠します。

未完となった原稿には、多くの若い人たちに、面白い本との出会いを作りたいと切に願う著者の思いと信念が、壮絶な人生とともに綴られています。

「今は混沌として先が見えない時代、自分で考え、自分で答えを見つけていかなければならない、そのために読書は必要になる。」「本にはすべての答えがある。つらい時、迷った時、うれしい時、いつもそばに本のある人生を歩んでもらいたい。」久住さんが遺した言葉が心を打ちます。

出会った一冊の本には人生を変える力があります。そして勇気を出して行動することでしか奇跡は起きません。本屋のオヤジが創り出した本書は、「本と人との出会い」をつくり“夢と希望”を与えてくれました。読み終えた私に、まだできることはある、前に進んで行こうと後押ししてくれた本です。

(K.T.)

友の会 談話室

図書館っていいな

かほく市立中央図書館 主査 猪村 智衣さん

4月から図書館勤務となり、膨大な本の数、今まで自分が読んだことがないような様々なジャンルの本との出会いに驚いている日々です。

子どもが生まれてからは絵本を読むことが増えました。今までも図書館へはちょくちょく通っていたのですが、毎日勤務していると借りる機会も増え、子どもたちも私が帰宅すると「今日は何の本借りてきたの!？」と嬉しそうに飛びついてきます。カウンターで返却処理をしながら、「この本うちの子も喜びそうだな」「今日は何の本を借りようかな」と楽しみながら仕事をさせていただいています。

図書館は主婦にとっても強い味方です。絵本は意外と高いので、買うとけっこうな出費ですし、かさばると部屋が片付かなくて困ります。子どもは好奇心旺盛でいろんな本を読みたがるので、無料でたくさんの本

を借りられる図書館はとてもありがたい存在です。これからも子どもと一緒に図書館を活用していきたいなと思います。



猪村さんのおススメ絵本
「おべんとうバス」



館長のおススメ絵本
「うずらちゃんのかくれんぼ」

古本朝市 6月23日(日) 10:00~12:00

6月23日(日)、年2回恒例となった古本朝市が開催されました。当日は、開催2時間の間に100人という多くの方に来場いただき、古本の収益(協力金)は32,250円となりました。

これも、本を寄贈いただいた方、来場いただいた方、皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。



友の会活動予定

●リサイクル本収集

かほく市立中央図書館
階段下のリサイクル本入れで
常時受け付けております。

ご寄付ありがとうございます！
今後ともよろしくお願ひします！

●応援ボランティア

やってみたいと思う方は
ボランティアルームまで
おこしてください。



【開催日時】

■ 8月(夏休み期間) 10:00~11:30

8月6日(火)、8月20日(火)、8月27日(火)

■ 第1・3・5週 14:00~15:30

9月 3日(火)
10月 1日(火)、10月29日(火)
11月 19日(火)

■ 第2・4週 10:00~11:30

9月 10日(火)
10月 8日(火)、10月22日(火)
11月 12日(火)、11月26日(火)

【作業内容】 本の書架整理、購入本の受け入れのお手伝いなどを行っています。

編集後記

5月の改元に伴い、「昭和から平成」、「平成から令和」へと、2つの時代替わりを体験したことになりました。令和への改元は生活に大きな変化はないようでしたが、仕事の事務書類に年月日の間違いがないようにと、しばらくは気を張っていました。それでも約3ヶ月経った今、令和の文字に目も、パソコンを打つ手も慣れ始めています。

思えば平成になったとき、まだパソコンはここまで普及していませんでした。携帯電話も然り。文明の利器の進化も早い。遠い目をして昭和を懐かしく思う時代から平成を遠い目で思う時代もすぐにやってきそうですね。

令和になって最初の会報です。これからも友の会と会報を「遠い目」ではなく「近い目」で見守ってください。お願いします。

会報部会 新田

現在の会員数 127名

入会のお申し込みは、中央図書館サービスカウンターにて随時受け付けております。